

2020 年度（令和2年度）



自然エネルギー信州ネット

【活動報告書】

■活動概要

本年度の初日、2020 年 4 月 1 日に長野県が「長野県気候危機突破方針」を発出し、県全体で本格的に気候危機への対策を進めることとなりました。一方、県内各地で人口減少やインフラ維持などの地域課題も深刻になってきています。同時に、コロナ禍もあり、世界的にも大きな社会変革の必要性が強く感じられた年になりました。

自然エネルギー信州ネットも、地域課題・地球的課題を解決するための自然エネルギー活用の方法を探って、連続オンラインセミナーを行ってきました。

動画配信も開始し、「太陽光発電に関して良くある質問（FAQ）」や、長野県の SDGs に関する様々な動画作成への協力もしました。

実践においても、白馬高校での断熱改修のワークショップなど共同主催し、大きな話題を呼びました。

地域重点型のイベントの開催、地域主体の自然エネルギー事業、中小企業の脱炭素経営の支援も、継続して行っています。

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行った。

- 1）コアセミナーを開催（世界的、全国的な流れを中心に。最新情報を総合的に得る）
- 2）プロジェクト実行力を上げる。専門部会や自治体、地元との連携。
- 3）重点地域への立ち上げサポート
- 4）県や市町村との協働事業

1）コアセミナーを開催

【目的】エネルギーシフトに関する世界的、全国的な流れや最新情報を信州ネット会員、および関心ある一般参加者と共有する。また、長野県の気候危機突破方針に関して、内容理解と具体化をウェブ会議で探る。

●1b) コアセミナー「気候危機突破」地域会議

- ・6 月 20 日・「長野県気候危機突破方針を読み解く」
講師：田中信一郎さん（千葉商科大学）
講師：茅野恒秀さん（信州大学）



動画：6月20日・「長野県気候危機突破方針を読み解く」

右のQRコードより視聴可能。(信州ネット Youtube チャンネル)



1c)ウェブセミナー「気候危機突破」

●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ：産業とイノベーション」

・2月25日・3月2日「RE Action 中小企業のための脱炭素経営」：グリーン購入ネットワークと共催。

講師：則武祐二さん（リコー経済社会研究所）

講師：大井明弘さん（アトリエデフ）

●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ：地域新電力とエネルギー融通」

・3月5日「新電力と地域融通」

講師：稲垣憲治さん（一般社団法人ローカルグッド創生支援機構）

動画：右のQRコードより視聴可能。(信州ネット Youtube チャンネル)



2) 専門分野ごとにセミナーか視察を定期的に行うプロジェクト

●2a)太陽光O&M（信州ソーラーパトロール）の認定事業

認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。

松本地域の野立てPVの保守状況の調査：松本地域のすべての野立てPVを確認中

●2b)ソーラーシェアリング支援事業

長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。

飯田、松本四賀地域での新計画などサポート。

●2c)省エネプロジェクト

4d) と連携して、「健康エコ建築」を拡大する。

9月19日-21日の白馬高校の断熱改修を支援した。計測、比較などの結果報告も支援。





●2d)屋根ソーラー拡大プロジェクト

4d) の再エネ普及PJの個別PJの「全ての屋根にソーラー」と連携

●9月にチラシを作成。HPを作成。<http://www.shin-ene.net/pv>

●3月に、県と協力して普及動画を作成した。

動画：右のQRコードより視聴可能。(信州ネットホームページ)



●セミナー「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」

※ 10月24日開催

SUWACO Labo 共催

■岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo 第7回事業成果発表会

【主催】主催 岡谷酸素株式会社 自然エネルギー信州ネット 自然エネルギー信州ネット SUWA

【共催】長野県

【協力】鴨池川エナジーパーク 一般社団法人自然エネルギー信州ネット

【日時】2020年（令和元年）10月24日（土）14：00～16：00

【場所】茅野市民館（長野県茅野市塚原1-1-1）および Zoom によるオンライン参加

【講演者】

「第7回 事業成果報告会 7年間のあゆみ」

講師：藤岡史和さん（岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo）

「地域と調和した太陽光発電の推進 ～信州屋根ソーラー普及事業～」

講師：柳原健さん（長野県ゼロカーボン推進室長）

「ソーラー発電の疑問解消、再エネの正しい使いかた」

講師：櫻井啓一郎さん（産業技術総合研究所 主任研究員）



無料

【10月24日】

SUWACO Labo2020 「自分の屋根が発電所
電気は買うよりつくる時代 ～地域と調和したソーラー～」

太陽光発電って本当にいいの？

今でもいいの？

あなたの質問にお答えします。

■ソーラー発電の疑問解消、再エネの正しい使いかた

講師：櫻井 啓一郎（さくら いけい いちろう）さん（産業技術総合研究所 主任研究員）

岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo 完成から7年目を迎えた今年度は、Covid-19 の世界的な蔓延という事態により、オンラインや人数限定のイベントの開催に集中をした。同時に気候危機宣言やゼロカーボン宣言をする自治体が長野県を始め、県内各地で増加した年度でもあり、ゼロカーボンへ向けた計画づくりや啓発運動に取り組んだ。

事業成果発表会は茅野市民館の会場を借りつつ、会場参加者は 20 名以下に限定して、オ

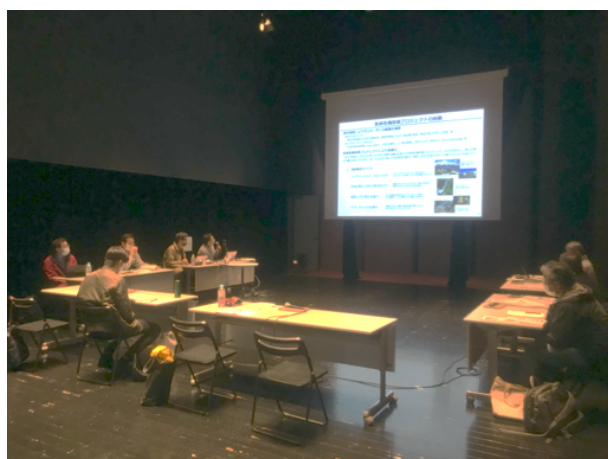
オンライン中継で開催した。「自分の屋根が発電所 電気は買うよりつくる時代 ～地域と調和したソーラー～」をテーマに山林開発型ではない屋根利用の太陽光発電の推進や、良くある疑問に答えることに専念した内容とした。

特に茅野や諏訪地域では山林開発型の大型太陽光発電所の開発が話題になっていた時期でもあり、同イベントは新聞などでも取り上げられた。60人ほどがオンライン中継で参加し、後日の動画配信は、約200名の視聴があった。



岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo 7年目の実績報告

「地域と調和した太陽光発電の推進 ～信州屋根ソーラー普及事業～」



「ソーラー発電の疑問解消、再エネの正しい使いかた」

動画配信



太陽光FAQ-07 「いよいよ太陽電池設置へ具体的な検討したい？」 SUWACO Labo 2020 その7

1 回視聴・2020/12/23



太陽光FAQ-07 「いよいよ太陽電池設置へ具体的な検討したい？」 SUWACO Labo 2020 その7

0 回視聴・2020/12/23

動画は、右のQRコードから視聴可能。(信州ネット Youtube チャンネル)



◆『信濃毎日新聞』2020年10月25日記事



太陽光発電 在り方考える 野

信州ネットオンラインセミナー 茅

諏訪市の霧ヶ峰高原近くに計画され、6月に中止となつた大規模太陽光発電所(メガソーラー)問題。建設は、大掛かりな山林開発による災害の誘発や生態系への影響が懸念された。この日のセミナーは、太陽光発電の在り方を改めて考えようとする企画だ。

茅野市は、国内には電力需要に匹敵する再生可能エネルギーの資源量があると指摘。太陽光発電のために森林伐採をする必然性はない。木を切り倒さなくても屋根や未利用地を使えば、国内で必要な太陽光発電設備は設置できる」と主張した。

固定価格買い取り制度(FIT)にも言及。制度導入後、再生可能エネルギーによる発電が、短期間で設備の設置で、粗悪な設備が増えたりしている点が課題とした。

岡谷酸素(岡谷市)や環境政策課の担当者は、県内の屋根を使った太陽光発電の有効性について話した。

●2e) エネルギーまちづくりプロジェクト

コンパクトシティ、地域熱供給網、交通シェアリング、断熱集合建築など 社会インフラの変革

●持続可能な農村

8月22日、8月29日、9月2日「持続可能な森林」開催

講師：池田憲昭さん（ドイツ・Arch Joint Vision 社代表）

報告レポートが信州ネットのHPに掲載。（QRコード）



●報告 第1回

持続可能な森林が、ゼロカーボンや災害対策など、多面的な役割を持てることを学んだなど、とてもよかったとの感想もいくつもいただくことができました。

- ・まず、日本の森林はドイツより、日照量も降水量も多く、土壌が大変豊穡であること。
- ・よって、毎年の成長量も大きく、「持続可能な森林」＝毎年の成長量分だけ切り取る、の可能性がとても高いこと。
- ・しかし、皆伐して一斉に植林するのは、コストがかかる上に、土壌を壊してしまうこと。
- ・豊かな土壌は、森林自体以上に炭素固定をする場合が多いこと。
- ・豊かな土壌と森林は、皆伐を繰り返す山より保水力が圧倒的にあること。
- ・持続可能な恒続林（Dauerwald）は、広葉樹と針葉樹の混じった混交林を目指す。

そのために、成長させる「将来の木」を選定してその周りの2、3番手の木だけを間伐すること。

多様な樹種が多様な樹齢で存在することは、将来の木材需要の変化、気候の変化にも対応しやすい「ポートフォリオ」を生成すること。

など、持続可能な森林の役割と、地域林業への恩恵が豊富なデータと研究結果をもとに語られました。



●報告 第2回

“私たちが何をすれば持続可能な森林は可能か？” 次のような内容が話されました。

- ・多種多様な樹種の森林。土地適性を考えた針広混交林。
- ・手間やコストがかかってしまう維持作業は極力無くしていく。

例えば、「植林」は、手間もコストもかかる。

土壌を壊滅的に破壊する皆伐は、止める。

代わりに、新しい木の天然更新ができるような世話をする。特に獣害に気を付ける。

・木材を使いやすくするために、土場→製材所→工務店、となるべく直接に取引して、木材利用をしやすくする。外材との競争力を維持。

原木は林業作業道の脇に置き、直接取引をした製材所のトラックが回ることによってコストをカットしている。

・地元で最大限に木材利用をするのを、大事にする。

・なによりも、きちんとした森林道を作る。真ん中を盛り上げたり、排水路をきちんと設計して、何年も維持される道を作る。

・間伐は、質の良い勢いの良い残す木を選んで、その周りの2番手3番手を適した範囲で行なう。細い木をわざわざ搬出するのは余計なコストなので、太くなってから搬出する。

・木漏れ日の量が様々になって、多様な樹種の混じることで将来の需要変化にも対応できる樹木のポートフォリオができる。

・森林作業の安全講習を第一に行う。教育制度がしっかりしている。

・木材として使うことを最優先にして、バイオマスのエネルギー直接利用は極力行わない。あくまで、カスケードの一番下の木材搬出時の廃材利用という視点で計画する。

・多種多様な美しい森は、観光にもなる。市民の憩いの場ともなる。



●報告 第3回

持続可能な森林が地域にあることで、まちの教育・観光・リクリエーション・そして、住み心地のいい住宅の建築、など、多面的な効果が現れていることを動画や統計数字を見て探りました。

●持続可能な街なか

●10月19日「持続可能な街なか」開催。

講師：藤川まゆみ（上田市民エネルギー）動画をご覧ください。

（信州ネット Youtube チャンネル）

村上敦さん（ドイツ・環境ジャーナリスト）





(写真) 10月19日・上田「持続可能な街なか」村上敦講師

●持続可能な農村

●2月26日「持続可能な農村」開催。

講師：石田信隆さん（農林中金総合研究所）

『輝く農山村』を書かれた石田信隆さんに、
農山村の持続可能な再生についてお聞きする。

（動画は右のQRコードより視聴可能：信州ネットYoutubeチャンネル）



岐路に立つ農山村と地域社会

持続可能な地域を再生するために、なにができるか？

人口減少、高齢化、インフラ負担の増大、温暖化などの不安が覆ういま、
希望の持てる「輝く農山村」をいかに創っていくか。

農業の持つ多面的機能、恵まれた自然資源を維持し生かすことによる豊かな地域社会。

オーストリアの「誰もが生きる意味を見つけられる」農山村を訪れてきて、その秘密を探ってきた、農林中金総合研究所の石田信隆さんより、エッセンスをお聞きました。

- ・条件不利をプラスに変える持続可能な有機農業
- ・農村の人々によって維持される美しい自然、それによって可能となる観光立国
- ・地域の農業と結びついた農家ペンション、多様な6次産業化
- ・地域の歴史とアイデンティティを活かす地域づくり
- ・住民が主役となる地域づくり

3) 重点地域への立ち上げサポート

●3a) 事業化支援事業（鬼無里）鬼無里「あるをつくす」事業化支援

地域で薪を集める仕組みづくり

廃校を使ったイベントや里山事業、シェアオフィスなど実践中。

●3b) 白馬でのSDGs リゾート 連携協力プロジェクト

(1) 白馬村、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などを一緒に行う住民ワークショップを3回以上、開催。

(2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。

9月19-22日 白馬高校断熱プロジェクト

スキー場でのカープール取り組み。

Hakuba Valley DMO でのSDGs 取り組み。

●3c) 松本でのSDGs ワークショップ

11月7日 体験型環境プログラム 46億年・地球の道 ～未来への道を見つけよう～

in 四賀・錦織（にしこり）開催（40名ほど参加）

四賀の里、100%リニューアブルバレー構
想 計画中

（写真）11/7 松本市四賀地区「地球の
道と四賀の道」



●3d)小谷プロジェクト

小水力、チップボイラーなどの可能性。

役場の使用エネルギー調査、および、省エネ提案など。”

4) 県や市町村との協働事業

●4d) 気候危機突破プロジェクトとの連携

- ・コンパクト+ネットワークまちづくり
- ・地域と調和した再エネ普及拡大
- ・健康エコ住宅普及促進
- ・ゼロカーボンビル化促進
- ・SDGs&ESG 投資促進
- ・ゼロカーボン実現新技術等促進
- ・世界標準の RE100 リゾート

●環境カレッジ動画「信州ゼロカーボン WEB 講座」発信：作成協力

<https://shinshu-ecollege.pref.nagano.lg.jp/zerocarbon/>

(該当ページのリンク：QR コード)



●太陽光発電推進サイト：作成協力



(QR コード：信州ネットホームページ)



●太陽光発電推進パンフレット：共同作成



(写真) 太陽光発電推進パンフレット

5) その他イベントなどへの参加

●講師として参加（浅輪事務局長）

10月17日 おかやまエネルギーの未来を考える会

2月19日 自然エネルギーとっとり など